

検	社長	専務	運行管理者
印			

## 2020（令和2年）年度 安全報告書

### ■年間の総括と次年度の目標

今年度の事故件数は本社営業所で貸切2件乗合3件の車両事故、三沢営業所で貸切1件の車両事故、合計6件であった。ここ数年来、年間の事故件数は1件または2件と少ない数字で推移してきたが、今年度増加してしまい誠に残念である。事故報告書の分析では事故の類型は似通っている。駐車場内での後退時の接触と、公道上で合流してくる相手車両の挙動を視認していながら、その状況では入ってこないだろうとの思い込みからの動静不注視に起因する事故が重なって起きた。いずれも不注意に起因しているもので、防ぐことができたであろう事故であり誠に残念であった。より一層の安全意識を徹底し、次年度は重大事故はもちろん人身事故、有責事故ともにゼロの目標を達成したい。

ここ数年にわたって従業員の教育の強化と健康管理の徹底を重点施策として取り組んできたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で救命講習など社外の研修等が中止になり社内の教育が中心にならざるを得なかった。来年度は情勢の許す限り社外の研修もカリキュラムに入れるようにしたい。また、健康起因事故防止のための健康管理の徹底については睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査後のフォローアップの強化に取り組んだ。従来はSASの所見のあった乗務員が実際に医療機関で治療に入るかどうかは本人の自主性に任せていたが、

SAS の進行による健康へのリスクを周知し、医療機関での初診の受診料を会社負担とすることで積極的に治療をすすめることとした。健康管理の徹底については引き続き成果を求めていきたい。

帰庫点呼でのデジタコによる法定速度超過のチェックは、総数は減少しているものの1～2キロのわずかな速度超過は年間を通じるとまだ多数にのぼる。より一層の安全意識をもって次年度の速度超過ゼロの目標達成を目指したい。

最後に、乗務員、事務員とも人手不足が一層進み残業時間、休憩・休息时间・休暇の取得など人員配置には一層難しさが増している。求人方法の見直しなど、継続して働きやすい職場環境の構築に向け努力を続けたい。

令和3年3月31日

安全統括管理者 木村 英之



## 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

青森観光バス株式会社は、輸送の安全の確保が自動車運送事業者の社会的使命と深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという認識の徹底をはかるようにいたします。さらに、「最も優先されるのはお客様の安全である」を根幹とし、三協グループの企業理念において「安全の確保」を第一の使命と徹底しております。また、お客様からの信頼に応え、社会的責務を果たして参ります。

1. 安全を何より最優先する組織・社風の構築
2. 安全マネジメント体制の確立と継続的改善等の実施
3. 安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
4. お客様の安全を第一に考えた輸送とサービス・マナーの提供
5. 安全輸送に関する関係法令等の遵守
6. 安全輸送に関する情報の積極的な公表の実施
7. 効果的・効率的でゆとりある業務環境の実現（働き方改革）

以上の方針に基づき、「安全の確保」に向けた不断の努力を重ねて参ります。

## 2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

### 1. 輸送の安全に関する目標

- ① 有責事故件数 2020年度 ゼロ
- ② 有責重大事故 2020年度 ゼロ
- ③ 法定速度超過 ゼロ
- ④ 無事故継続日数目標 700日

上記を目標とし、達成のために事業所ごとの点呼所に目標を掲示し、点呼の際に管理者と共に毎回確認する。事業所内にも掲示し、全社員で確認し続けると共に、来社されるお客様にも公表することで全社員の責務向上の励みとする。

### 2. 目標の達成状況

上記に掲げた2020年度の輸送の安全に関する目標の達成状況は以下の通り

- ① 有責事故件数 ゼロ → 有責事故6件
- ② 有責重大事故 ゼロ → ゼロ 目標達成
- ③ 法定速度超過 ゼロ → わずかな法定速度超過が多数あり
- ④ 無事故継続日数目標 700日 → 未達成（有責事故6件）

### 3. 事故に関する統計

#### 事故件数（令和2年度）

事故種別	件数
重大事故	0件 前年度比 増減無
車両人身事故	0件 前年度比 増減無
車内人身事故	0件 前年度比 増減無
車両物損事故 (社用車・除雪作業者等を含む)	有責軽微事故 6件 前年度比 5件増
	他責軽微事故 0件 前年度比 増減無

※自動車事故報告規則第2条に基づく件数です。

(全件数であり乗合車両や社用車等の事故も含んでいます)

#### 4. 2021 年度安全費予算

輸送の安全の確保のため次年度は以下のとおり安全費を計上する。

2021 年度予算計画における輸送の安全に関する予算額（安全費）

項目	本社営業所	三沢営業所
脳ドック受診	170,000	30,000
SAS フォローアップ費用	300,000	150,000
研修・教育費 教材費	150,000	50,000
感染症防疫費	100,000	100,000
受動喫煙対策費用	100,000	
運行管理・安全管理用 P C	100,000	100,000
A S V 装備付車両導入費	1,000,000	
予備費	300,000	200,000
小計	2,175,000	625,000
合計		2,850,000